

小中学校からのご意見等

1	<p>生理用品等の管理上の問題点等について（設置場所・設置方法・補充方法など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来ならば全トイレに設置するのが望ましいが、管理上は、利用率の高いトイレに限定することがよい。 ・トイレに設置することでいたずらの誘発を懸念していたが、問題行動はなかった。 ・点検・補充が女性に限られるため、慣れるまである程度の時間をかけ理解を得ることが必要。 ・生理用品設置トイレを4年生以上の児童が使用するトイレに限定したため、低学年の児童への影響はなかった。 ・設置方法や補充方法についても特に問題はなかった。
2	<p>事業を実施する上での、先生方への負担についてお聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな負担はないが、出張や校外学習時等、状況確認や補充に人員不足の時がある。 ・当初の設置は管理職が行った。管理できる個数であれば負担はない。 ・補充については、トイレトペーパーの補充時に併せて生徒が行っているが、できていないこともあるため、管理は必要。 ・残数の調査・報告及び補充作業。
3	<p>事業を実施する上で、工夫された点についてお聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象をやわらげるための掲示物の作成 ・個室には1パックをかごに入れて設置した。1パックごと置くので補充も頻繁にはならず、外袋に詰めたままなので、衛生面でも良かった。 ・教職員（特に女性教職員）の誰もが対応できるように全員に目的と実施方法について周知するとともに共通理解を図った。
4	<p>児童生徒からは、どのような意見がありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置については、概ね良かったという感じ。 ・当初保管庫の扉にポスターを貼っていたが、女子生徒から剥がして欲しいと要望があり、現在は貼っていない。 ・補充用ナプキンを黒のビニール袋に入れて保管していたところ、どこにあるかわからなかった生徒がいた。
5	<p>今後、本事業を市内全校で実施していくために、どのようなことが必要ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校では教職員の負担はほとんどなく実施できているので、同様の方法であれば他校でも負担なく導入できると思う。 ・補充用在庫の調達をどのようにするかが課題になる。 ・設置場所・数・方法・入れ物の形状等、各校の実情があるため、所管課で幾つかの選択肢を用意し各校が選ぶ方法がスムーズに進むと思う。 ・これまでの保健学習に加えて、生理用品を使用することはごく当たり前であるという意識や月経が始まっていない女子児童や男子児童に対する生理の重要性の啓発は、より丁寧に行う必要がある。
6	<p>その他、お気付きになられたことや、モデル事業に関するご意見をお聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレにトイレトペーパーがあることが当たり前のように、生理用品も必要であるという意識を広げていく必要があると考える。設置されている学校とそうでない学校で、差がうまれないように、全校配置を進めて欲しい。 ・性の悩みを持つ児童も一定数いると思うので、事業の説明時や保護者向けのお知らせ配付時に個人的な配慮が必要な児童がいることを意識しておく必要がある。 ・本校では、生徒指導上ほとんど問題はない。生徒指導上設定しにくい学校もあると思うので、市内全校に広める場合、より丁寧な説明や設置方法の検討が必要だと思う。